

3月31日(日) 桜

ずっと忙しく校務をこなしていたので、本校の桜に気付きませんでした。とても天気がよいので、非常階段から桜を見ると、花が咲いています。令和5年度の最終日に、気付けてよかったです。366日があっという間に過ぎたと感じます。開校49年目の扇小学校が終わりました。



3月30日(土) 別れ

昨日、50周年の横断幕が届きました。転出する職員に見てもらって良かったです。昨日は、この幕を背に、職員がこの扇小を去っていきました。本日は、50周年を祝う横断幕もさみしそうです。



新聞に、人事異動の記事が載りました。新しく扇小に来る先生の名前も載りました。初任者も配置されます。四月一日を迎える準備に校長室で一人、取り組む日となりました。

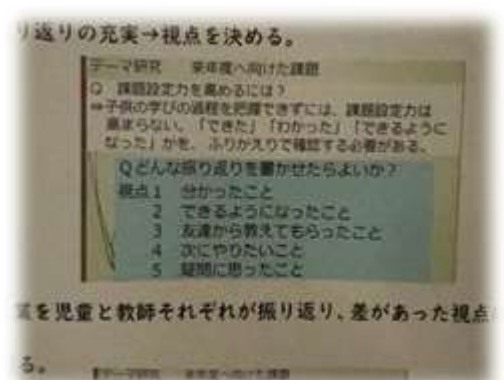
3月29日(金) 別れ

このすばらしい教職の仕事、私は2つだけ嫌なことがありました。通知表と別れです。子供とも職員とも、この3月末にはお別れをします。14人の教職員が今日が最後の扇小勤務。その一人ひとりを、残る職員で見送りました。淋しいものです。14人の教職員にとっては、4月に新たな素敵な出会いが待っています。そして我々にも、新たな仲間が加わることになります。



3月28日(木) 振り返り

本日も職員にとっては、多くのやることをこなす日となりました。引継ぎもあり、会議もあり、面談もあり、片付けもあり。私も一年間の振り返りをして、四月からの構



想作成に着手しました。廊下には、研修で職員が作ってくれた「振り返りの5視点」があります。私も扇小に着任してからのことをまとめてみました。

- 1 分かったこと
- 2 できるようになったこと
- 3 職員から教えてもらったこと
- 4 次にやりたいこと
- 5 疑問

3月27日（水）片付け

子供たちは本日から春休み。職員にとっては、この時期は多忙な日々が続きます。一年間の整理、片付け、引継ぎ、次年度への申し送り作成、四月から始まる新学期の準備などなど。特に異動が予定されている者にとっては、正に「猫の手も借りたい」という声が聞こえてくるほどです。荷物整理の段ボールが職員室前の廊下に積み上げられ、一つ二つと減っていくのが分かります。校庭で遊んでいた扇っ子の中には卒業したばかりの六年生もいました。



3月26日（火）修了式・通知表・式言葉

令和五年度修了式。「一年間の学習をしっかりと行ったので、進級できます」の証、修了証を各学年の代表に渡しました。児童代表の言葉では、五年生の子がすばらしい話をしてくれました。「委員会活動と学級活動をがんばった。四月からは第50代リーダーとして、さらに頑張っていきたい」と語ってくれました。頼もしい言葉に、職員一同、心から嬉しくなりました。

修了証を担任から、一人一人に渡しました。子供にとっては三学期の通知表も兼ねています。一人一人に、成長したこと、よくがんばったことを、すべての担任が伝えました。何人かの子に聞いてみると、表現の違いで中身が想像できます。「まあまあよかった」「なかなかよかった」「よかった!」「自分としてはよかった」「まあまあよかったの



「ちょっと下かな」など。三か月、全力で学習したことについては、全員に誇りを持ってもらいたいです。

修了式での「式の言葉」では、私がこの一年に話したことを振り返ってもらいました。すべて話すのではなく、いくつかは、クラスで確認して下さいと伝えました。例えば、

4月 肩組んで

5月 を磨こう

1月 学校は する所

一年生の教室でもグループごとに考えて、ほとんどの子が正解を導いてくれました。



3月25日（月）卒業証書授与式

扇小学校第49回卒業証書授与式を行いました。予行の時のガチガチの緊張感はなく、子供たちが自分らしく自然体で式を行えたと思います。来賓の方々からも「呼名の返事がすばらしかった」とおほめの言葉をいただきました。「正解」の合唱も心がこもっていて感動的でした。

式終了後の学級活動では、担任からの最後の話、仲間に向けた一人一人のメッセージ、寄せ書きなどなど、涙もなく、「らしい」最後だったと思います。体育館での写真撮影は、想定していた時間よりも長く続きました。担任との写真を撮るために、長い列もできていました。第49代扇小リーダーは、立派に笑顔で巣立っていきました。「幸せになること」をいつまでも祈っています。



3月24日（日）式辞

式辞を作り上げました。いろいろ悩みましたが、「幸せになってほしい」という思いを卒業生に伝えることとしました。よくよく考えてみると、幸せになるためのヒントが卒業証書には書いてあることに気づきました。そのことをしっかり伝える言葉にしました。本校の六年生なら、きっと分かってもらえると思っています。本日も、六年生の教室



に行ってみました。学年コーナーには、卒業証書が掲示してあります。天気だけが心配です。

3月23日（土）祝福

卒業式の準備が整いました。昨日しっかり見られなかった場所も確認しました。祝電が貼り出され、体育館もきれいです。六年生の教室に行くと、黒板には熱い素敵なメッセージが書いてありました。一人一人へのメッセージが貼ってあったり、名前カードでメッセージが作られていたり、見ただけで胸が熱くなりました。昔、自分が担任していた頃を思い出します。そして、こんなに手間をかけて教室を作ってくれる先生に担任してもらった子供たちは幸せだと心から思いました。



3月22日（金）門出式・準備・一年間

六年生と在校生のお別れの日です。六年生の下校に合わせて、一年生から五年生が校庭に列を作り、25日に卒業する扇っ子を見送りました。200mほどを歩く六年生は、在校生に手を振って、複雑な表情を浮かべていました。笑顔の中にも寂しさがあり、照れの中にも嬉しさがある感じに見えました。人の列を通り終え、下校していく六年生の中には、名残惜しくずっと在校生に手を振っている子もいました。もちろん、在校生も手を振り返っていました。予想はしていましたが、計画した時間をはるかにオーバーして、この素敵な時間が終わりました。



五年生が卒業式の会場準備をしてくれました。イスをきれいに並べたり、掃除をしたり、掲示物を貼ったり、精力的に活動してくれました。どんな気持ちで取り組んでいるかを数人に聞いてみました。「卒業を祝う気持ち」「これまでがんばってくれた六年生に、最後は気持ちよく卒業してほしい」「終わりよければすべてよし」「六年生のために、会場を隅々までピカピカにしたい」などの回答があり



ました。頼もしくも嬉しい言葉を聴いて、この思いは卒業生に伝わると、確信しました。

三年生の教室では、先生が作ったムービーを見ていました。一年間を振り返るもの。先生からのメッセージもちりばめられたもの。懐かしい写真が次々に表れます。泣きながら見ている子がたくさんいました。「もう終わっちゃう」「一年間が短かった」「先生はこんなの作ってすごい」などと話をしてくれました。どの教室でも、一年間の卒業式が行われるだと思いました。



3月21日(木) ライブ・似顔絵・楽しみ会

五年生が企画してくれたコンサート。その最終日に参加しました。音楽室には、一年生から六年生までの子がびっしりでした。「愛は勝つ」の演奏が始まると、手拍子をしたり、体を揺らしたり、踊るように見ている子もいました。曲が終わると「アンコール」。三日間にわたる五年生のコンサートが終わりました。参加した子には、素敵な時間になったはずです。そして、この日のために練習してきた五年生にとっても、達成感があったはずです。



三階から降りてきた一年生に話しかけると、「六年生にプレゼントを渡してきた」と教えてくれました。さっそく六年生の教室に行くと、数人がもらった似顔絵を嬉しそうに見ていました。ほとんどの子は、すでに大事に元通りにしてしまっていました。数人に感想を聞くと、「最初は接し方が分からなかった一年生が、がんばって描いてくれたことがうれしいし、よかった」などの話を、嬉しそうにしてくれました。



六年生の教室では、お楽しみ会が行われていました。各クラスの個性が出る場面です。「お祭り」をしていたクラスもあります。「ゲーム」をしていたクラスもあります。クイズ大会していたクラスでは、担任についての問題が次々に出題されていました。「先生は、高校二年からメガネをかけている。○か×か」など。担任と子供たちの、別



れがたい**信頼関係**を感じる、楽しい雰囲気でした。

3月20日（水）彼岸

お彼岸、墓参りに行きました。両親が眠るお墓に手を合わせるお彼岸は初めてです。自らが日々**健康**で仕事ができていること、学校でも子供たちが**張り切って**がんばってくれていること、職員も**はつらつ**と明るく取り組んでくれていることの**感謝**の気持ちを報告しました。こんなに寒くて、風の強い春分の日には記憶にありません。良いことが起こる**予兆**だと、天国から声が聞こえてきました。



3月19日（火）園児・話し合い・給食

おうぎ子ども園の子たちが、来校しました。**年長さん**、四月から小学生になる子です。学校の様子を見に来たのです。**一年生の授業**の様子を参観し、**施設**や**設備**を見てきました。昨年の三月まで一緒に遊んだ子もいたようで、久しぶりの**再会**に喜んでいる子（一年生、園児）もいました。そして、先生の中にも「〇〇〇くん！元気！」と大喜びしている方もいました。卒園生の**成長**を、心から喜んでくれたようです。



あるクラスでは、お別れ会で行うことの話し合いを行っていました。詰めに入っていたようです。**ドッチビーボール**をやることに決めたのですが、その案を推す**理由**が次々に発表されていました。「やりたい人が多いから」「おもしろそうだから」「ハラハラしそうだから」「まだこのクラスでやったことがないから」などなど。簡単に**多数決**で決めてしまわないところに、クラスの**まとまり**を感じました。



令和五年度、**最後の給食**でした。**うずらの卵**が出たので、「しっかりかんで、**ゆっくり**食べる」指導を全学級でしました。一年生の教室に行くと、いつもより**ゆっくり**食べていることを感じました。本日で今年度の給食が終わりま



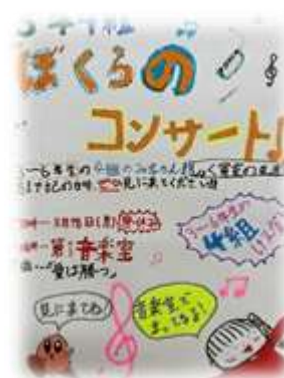
したが、食に関しての事故はありませんでした。アレルギー対応を含めて、おいしい給食を毎日作って下さった調理員さん、献立をきめ細かく計画してくれた栄養教諭に、心からの感謝を込めて、よくかんでいただきました。

3月18日（月）強風・友達と・ライブ

朝から強風。登校してくる子たちも、帽子を押さえたり、顔をしかめたりと、風と闘いながらの歩行となりました。登校してきた一人の一年生が、校庭に舞うビニル袋を発見しました。拾ってほしいことを伝え、ダッシュでこのゴミに向かっていきました。簡単には捕まりません。しかし、あきらめないこの子の熱意は通じます。強い風との追いかっこの勝利。めでたく、校庭に舞うゴミを捕まえてくれました。

本日は、全校で子供たちに2つの指導をしました。「たくさんの友達と話しましょう」「作品やノートを持って帰ったら、親に自慢しましょう」です。学年末。一緒に学んできた仲間と、一人でも多く話ができるように、授業でも向かい合ったり、グループで行ったりする時間を増やします。そして、持ち帰るプリント等も最後までやり切らせます。いよいよ令和五年度もあと少しです。

五年生が音楽の授業で仕上げた合奏を、多くの子に聴いてもらおうとコンサートを企画してくれました。ポスターを各教室に配布してくれて、知らせてくれました。私はこの日は見に行けなかったのですが、実施した五年生に聞くと「楽しかった」「妹も来てくれた」「アンコールもあった」「無理だと思ったけど練習して良かった」などの感想を聞きました。場を設定すると子供は伸びます。下の学年の子にとっても、大きな刺激になったことと思います。



3月17日（日）アルバム

週末、卒業アルバムが出来上がり、私のもとに届きま



した。タイトルは「Believe」。「信じる」という意味なのでしょう。一人一人の作文も再度読みました。卒業していく六年生の、明るい未来を信じます。そして、充実した六年間であったことを信じます。

3月16日（土）卒園式

近隣幼稚園の卒園式に参加してきました。証書授与など、どの子もしっかりと行っていたので驚きました。子供たちが入場してくる前から涙を拭いている保護者の方もいました。卒園、卒業、保護者の方の感慨深い思いは想像以上のものだと改めて感じることができました。卒園、おめでとうございます。



3月15日（金）感謝・作業・仲良し

本日は、いつも以上に職員室にやってくる子が多かった気がします。「〇〇先生、いらっしゃいますか」と声をかけられた職員が廊下に出ると、数人の子が待っています。そして「一年間ありがとうございます」というあいさつがあり、手紙を渡されるのです。担任以外の先生に授業をしてもらった感謝の気持ちなのでしょう。我々は職業として、仕事として子供たちに授業等をしていますが、感謝してもらえるのは嬉しいものです。



六年生が卒業前の奉仕作業をしてくれました。トイレや階段、廊下、特別教室などなどを、30分間無言清掃で綺麗にしてくれました。昨日の引き継ぎ式で六年生の代表が「無言清掃を続けてもらいたい。きれいな学校で50周年を迎えてもらいたい」と五年生にメッセージを送っていたのを皆が覚えているのです。立つ鳥跡を濁さずといいます。六年生は、最後の最後まで、下級生のためにお手本を示してくれました。



なかよしタイム。昼休み。校庭にはたくさんの子が出て遊んでいます。鬼ごっこやドッチボール、なわとびな

どなど。よく観察してみると、**クラス単位**で遊んでいる子たちが数組います。一緒に遊べるのもあと少し。朝の会や学級活動でレクを話し合っていたクラスがあることを思い出しました。このクラスでの思い出をたくさん作ってもらうためにも、**晴れが続く**ことを祈ります。



3月14日（木） 予行・引き継ぎ・朝会

卒業証書授与式の予行を行いました。当日参加しない**四五年生**にも参加してもらいました。最高学年の**立派な姿**を見てもらいたいこと、多くの人が見ている前で、六年生に予行をしてもらいたいことがねらいです。**すばらしい式**になることを確信する共に、来年の扇小も安泰だと感じました。それくらい、四五年生も立派に参加してくれました。



予行の後に、**引き継ぎ式**が行われました。卒業生代表から、四五年生に向けてのメッセージがあり、その後、**五年生代表**からメッセージが読み上げられました。「六年生のように、お互いを**思いやり**、**協力**していきます」「下級生に、扇小の六年生は**すごい**と言われるようになります」「今まで見てきた六年生の姿に**追いつくために努力**します」と、力強い言葉を、六年生に向けて語ってくれました。50年目のリーダーにも、大いに期待したいです。



予行の前に見たのは、一年生の朝の会でした。**一人の日直**が前に出て、会を進行しています。「めあてを言しましょう」の合図で、みんながめあてを唱えます。「一年間の**まとめ**」「元気な**あいさつ**」「**ピカピカ**掃除」。かわいい元気な声が教室に響きました。一年生の成長ぶりに、触れた気がします。その教室の廊下には、体育館に向かう**六年生**が歩いてきました。何人かが、教室から聞こえてくる声に、**反応**していたのが分かりました。



3月13日（水）玉蜀黍・大縄・空

二年生の教室から、いい香りが漂ってきました。ポップコーンを作って、食べているのです。生活の学習です。子供たちはポップコーンが出来上がるのところや、できたてのポップコーンを手にしたところを動画に収めていました。中には、おいしそうに食べているところを撮影した子もいて、見せてもらいました。本当においしそうでした。

「校長先生にもあげる」と、優しい子たちからいくつかをいただきました。

強風の中、校庭で体育をしていたのは四年生でした。大縄で八の字回旋跳びをしています。このクラスがこの活動を始めた日を思い出しました。まともに跳べる子がなくて、縄が回っている時間がとっても少なかったことを覚えています。この日は、まるで違いました。引っかかる子も少なく、ずっと縄が回っています。「やった！20回連続だ！」「三回続けて引っかからなかった！」などの、歓声も聞こえてきます。雰囲気良くなれば、向上も早くて、上達しているのが10分くらいでもよく分かります。子供の成長は、急加速するのです。

九九検定の合格証を二年生の教室に持っていくと、ちょうど給食中。しらす入りのペペロンチーニをおいしそうに食べていました。この新メニューは大人気だったことを後で知ることになりますが、本当においしい献立でした。配膳台を見ると食管が空っぽです。ペペロンチーニだけでなく、フレンチサラダも完食です。九九を覚えてくれること以上に、元気にたくさん食べてくれる姿は嬉しいものです。



3月12日（火）一位・提案・変化

本日の給食にはビビンバが出ました。六年生のリクエスト一位の献立です。何人かにインタビューしてみました。ビビンバがなぜ人気なのか。「肉と野菜とお米の相性



がいい」「**栄養**がある」「あまり好きではない**野菜**もおいしく食べられる」などの回答がありました。六年生にもなると、メニューの良さをしっかり理解しているのだと感心しました。ビビンバ、**おいしかった**です。

五年生が国語で自分たちの主張をまとめ、**提案プレゼン**を行いました。この時間に見せてもらった提案は二つ。

「**オンライン授業**を行う」「**登校班**をなくす」です。分析もしっかり行っていました。オンライン授業にすれば、登下校にかかる**40分**を自由に使える。登校班になると、一人で歩くより、学校までかかる時間が約**10分**増える。本校HPに掲載している「**ゴジウ**」では、この二つはすでに実現していること。**未来への素敵な提案**でした。

四年生の理科では、季節の移り変わりについて学習していました。子供たちのPC画面には、**2枚の写真**が並んでいます。春と冬、夏と冬、春と秋などの**比較**です。中には3枚の写真を並べている子がいました。同じ場所、同じ木を観察した分析も書いてあります。**季節を感じる**ことは日本人にとって、非常に大事な感覚だと思います。この学習に限らず、自然の変化から**感性を磨いて**もらいたいものです。



3月11日（月）作品・黙祷・掃除

学年末になり、図工等の作品を**持ち帰る**姿を見ることが増えてきます。子供たちにとっての作品には、**三つの楽しみ**があります。**友達**に見てもらう、**保護者**に見てもらう、そして**家族**に見てもらう。家に持って帰るのを喜んでいる子は「**弟**に見せてあげよう」「**お父さん**に見せよう」などと**心を躍らせて**いるようです。喜んでくれる家族がいる子は、作品への取り組みも違います。ぜひ、持って帰ってきたら**賞賛**してあげてください。

東日本大震災から**13年**。この大災害を知らずに生まれてきた子に、この日は防災について語る日になっています。五時間目終了後に、各担任より**地震**のおそろしさや



避難に対する心構え等を話してもらい、一斉に**黙祷**をさせました。下校時、廊下ですれ違った一年生の子に「どうしてモクトウしたの？」と聞かれたので、「地震で亡くなった方たちのことを**忘れないため**だね」と答えました。失った尊い命を無駄にしてはいけません。ご家庭でもこの日には話題にしていきたいものです。

今週は大掃除週間です。活動はいつもと同じですが、普段行わない場所や、普段は手が届かない所もきれいにしようという意識で取り組んでもらっています。校長室前の廊下は、**四年生**が掃除をしています。六年生との会談中は気づかなかったのですが、**黙って**取り組んでくれています。「**無言掃除**」は本校の約束の一つ。上の学年がその姿を示してくれると、全校に**浸透**します。**きれいな学校**で年度を締めたいものです。



3月10日(日) 桜

図書館に行くと、桜の木が掲示されていました。「**想いを咲かせる桜の木**」というタイトルです。花一枚一枚に、地域の方の願い・祈り・決意などなどが書いてあります。大人が書いたもののほとんどが家族のことです。「〇〇が〇〇に**合格**するように」「〇〇が**健康**でよい中学校生活を送れますように」などなどです。**親心**に触れさせてもらい、感動しました。子供たちの健全な成長を願う気持ちは、普遍なものだと思われました。



3月 9日(土) 振り返り

昨日の授業のノートを校長室にて読みました。読むのは振り返りの記述です。「おもしろかった」「楽しかった」という言葉もうれしいのですが、一番うれしいのは**未来への記述**です。「**これからも**数学を学んでいきたい」「**中学校でも**数学をがんばりたい」「**フィボナッチ**について**調べてみたい**」などなど。このような思いが学習意欲につなが



ると信じているからです。

3月 8日（金）数学・ミライ・写真

六年生に**数学**の授業をさせていただきました。本日ですべてのクラスを終えました。計算は**たし算**ですが、中身は**数学**です。子供たちは、私が想像している以上の**気づき**をします。それは毎年感じます。高校の**数列**のような気づきをした子もいました。子供の力はすばらしいです。授業を通して伝えたかった私からのメッセージは、中学へ行っても高校へ行っても、社会に出ても**数学は身近**にあるのだということです。

計画委員の六年生を中心に、本日も**素敵な放送**がありました。扇小学校がどんな学校であってほしいかをインタビューして、その**結果や考え**を伝えてくれたのです。**笑顔が大事、いろんな人と関わる**ことが大切、思いやり、**積極性**、話しやすい**オーラ**などなどのメッセージを在校生に伝えてくれました。この思いは、**確実にバトン**パスされると思います。

二年生が、持ち込んだ写真を見せ合っていました。これまでの成長をまとめていくようです。**入学前**の写真や**一年生**の時の写真、家族で**旅行**に行った写真、中には**年少**さんの時の写真もありました。「かわいい！」「**今と全然違う！**」「いいなー」などなどの会話が、写真を挟んで生まれていました。もうすぐ三年生になる二年生にとっては、入学したばかりの頃の写真は、遠い昔なのかもしれません。心から懐かしんでいるようでした。



3月 7日（木）正直・夢・バトン

二年生が道徳で正直の良さについて学習しました。**うそ**がいけないことは二年生でも分かります。しかし「**正直の良さ**」について明確に理解している子は少なかったようです。授業を通して、子供たちが次のような発表をして



くれたので、理解が深まったと思いました。「スッキリするから」「モヤモヤがなくなるから」「友達が増えるから」「人に信じてもらうため」「自分の心が豊かになるから」。

六年生の道徳では「夢」について学習しました。主人公は努力を続けた結果、プロ野球選手になる夢は叶いませんでした。それでもすがすがしい気持ちで別の仕事に就きます。「夢とは、将来どうなりたいかの目標」「夢とは、やりたいと考える大切な思い」「夢とは、叶わなくても新しい自分を作ってくれるもの」と、授業の終末で六年生が発表していました。卒業を控えたこの時期、とても大事な学習をしたと思います。

五年生の道徳では、最高学年から渡されるバトンについて考えました。バトンに込められた思いについて、五年生は次のような発言をしました。「下級生をまとめる結束力」「他学年の支え」「学校をひっぱること」「下級生をリードする」「学校を支えていく」「下級生に優しい、憧れの存在」などなど。そして「昔から受け継がれているバトンである」という意見も出ました。扇小の最高学年としての意識を高めてくれたようです。



3月 6日 (水) 緊張・会談・雪

三月、もうすぐ進級のこの時期。子供たちが緊張する場面をできるだけ作ってほしいと、職員に話しました。ちょっとした環境が変わるだけでも人は緊張するものです。それが成長につながると私は考えています。この日の朝の会、二年生では違うクラスの担任が大事な話をしていました。日々慣れ親しんでいる担任の先生ではないので、子供たちはいつもより緊張して話を聴いていました。姿勢もとてもよかったです。

六年生との会談をほぼ終わりました。毎日とても楽しい時間を過ごさせてもらいました。必ず訊く質問の一つに「一年生の時の思い出は？」があります。この日も楽しい話題になりました。ある子が「給食を班で楽しく食べていた」



それを円グラフにまとめ、自分なりの分析を文章にしてみました。お年玉の調査をした子に結果を見せてもらおうと、一番多かった回答は「1万～2万」でした。最高額は、なんと〇〇万円。誰が答えたかは教えないことになっていると、**守秘義務**を守っているグループでした。

3月 4日（月）縁の下・空間・敷き詰め

五年生が家庭科で**白玉団子**を作っていました。楽しそうに団子を作っている子がたくさんいました。「めっちゃほめられた」と見せてくれた子もいます。そんな中、視線を下に下ろすと、机の下を**掃除**している子を見つけました。このグループの他の子は、団子を作ったり、それを見て楽しんだりしています。どの集団にも、**縁の下の力持ち**が必要です。このグループの机の下がきれいなのは、掃除に尽力している子がいるからです。

四年生の算数では、**立体図形**を使って学習しています。紙で**立方体**や**直方体**を作って、**面**に記号を書く場面がありました。先生から、「あ」の裏面に「か」と書きます、などの指示が出ていましたが、簡単なことではありません。「あ」の面と**垂直**に交わっている面はどれですか、などの問いにも首を傾げている子が多数います。**空間認知**を高めるのは、そう簡単なことではないようです。

一年生が**三角形**を使って、形作りをしていました。**しゅりけん**、**ロケット**、**家**、**ボート**、**カニ**など、作ったものを教えてくれました。この活動でおもしろいのは、ほとんどの子が**辺と辺**を合わせて敷き詰めるように並べることです。自然な感覚だと思います。同じ三角形を敷き詰めるともっと**大きな三角形**ができることに気づく子もいます。「**しかく**ができた！」と喜んでいる子もいました。とっても大事な学習です。



3月 3日 (日) 耳

本日は耳の日。子供たちには、四月から一貫して「話を黙って最後まで聴くこと」を指導しています。「**耳は二つ**あるが、口は一つ。それは、より多く聞き、話すのはより少なくするため」という有名な言葉があります。また「眼は、いつでも閉じることができるのに、耳は、**閉じることができない**」という問答もあります。学習の基盤「話を聞く」ためにも、耳を大切にしてもらいたいです。



3月 2日 (土) 卒団

校長室で仕事をしていると、窓を叩く人がいました。扇FCのコーチの一人です。本日は「六年生の卒団式」であることを教えてもらいました。校庭を見ると、たくさんの保護者の方が子供と一緒に**サッカー**を楽しんでいます。六年生と下級生の対戦も予定されているようです。仕事中には何も感じませんでした。今月で令和5年度が終わります。最後の一ヶ月。「**卒団式**」という言葉に、春の訪れを感じさせる**期待**と、六年生が去っていく**寂しさ**を感じる日となりました。



3月 1日 (金) 運動・粘土・式

運動委員会からの**放送**がありました。前回の放送、**大谷グローブ**についての告知が大好評だったので、**リクエスト**に応える形で第二弾となりました。内容は「大谷グローブを使った感想」などを募集するというものです。**ラジオ放送風**に展開され、とても楽しい放送でした。扇小学校から新たなスターが登場した感覚です。**第三弾**の放送日も伝えられました。学校生活の楽しみの一つになってくれれば、運動委員会も嬉しいはずです。



一年生が**図工**で粘土を使っていました。「**好きな物**」を作るのがめあてのようです。作っている子に聞いて回り

ました「何作っているの?」と。ほとんどの子が**動物**です。ネコ、犬、ペンギン、ハムスター、クワガタ、熊などなど。こういう時に、ゲーム機やサッカーボールを作る子はあまりいません。**動くもの**を目の前で**再現**したいという思いを、子供は自然にもつのかもしれません。動かない物を作っている子を一人見つけました。その子が作っていたのは、**雪だるま**でした。

南校舎を歩いていると、**三階**から呼びかけの**声**が聞こえてくることが増えました。卒業式の呼びかけの練習をしているのです。この日は、2回見ることができました。まずは間違えずに言えること、そして体育館にいる人**全員に聞こえる声**で言えること。それが段々と達成されつつあることが、声から分かります。「最高の姿で」という私からの課題の一つに「**最高の声で!**」があります。六年間学んで得た力は、**返事**や**呼びかけ**にも込められるはず

